

サリン事件の救護・医療記録等のアーカイブ化に向けた取組

厚生労働省大臣官房厚生科学課
災害等危機管理対策室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

サリン事件の救護・医療記録等のアーカイブ化に向けた取組

概要

- 1995年に発生した地下鉄サリン事件は都市部で大規模に行われた化学テロとして世界でも類を見ない事例であり、被害者のカルテをはじめとした医療に係る情報や、当時診療にあたった医療従事者等の経験から得られる教訓は、我が国における化学テロ等に対する危機管理能力の強化のために貴重なものである。
- このため、令和元年度～3年度のアーカイブ化に向けた検討を行った厚生労働科学研究等を踏まえ、特に経時的に散逸が進む可能性の高い医療記録や医療従事者等のオーラルヒストリーの保存を行うもの（令和6年度補正予算）。

取組内容

1. 医療記録の保存に関する取組

各医療機関と協議の上、電子カルテまたは外部ハードディスク等での保存を通じ、医療記録の電子化・保存を行う。

2. 医療従事者等のオーラルヒストリー聴取に関する取組

事件の被害者の診療にあたった医療従事者等の事件関係者の協力を得て、当時の経験から得られる教訓等を聴取し、その活用を図る。

サリン事件の救護・医療記録等のアーカイブ化に向けた取組

1. 医療記録の保存に関する取組

約1,400件のカルテを、紙カルテの電子化や、電子カルテへの取込等により保存済。

2. 医療従事者等のオーラルヒストリー聴取に関する取組

以下の3名にインタビューを実施し、関係HPで公開。

- ・ 木挽町医院 宮崎舜賢様（木挽町医院にて傷病者を診療）
- ・ 武田総合病院 中谷壽男様（東京消防庁の救急隊指導医として対応）
- ・ 国立健康危機管理研究機構国立看護大学校 萱間真美様（聖路加国際病院にて傷病者を看護）

【公安調査庁 オウム真理教問題デジタルアーカイブ】

PSIA 公安調査庁 オウム真理教問題 デジタルアーカイブ

コンテンツから知る 各事件について 関係者の声 オウム真理教対策のいま

サイトマップ お問い合わせ 文字サイズ

タントラ・ヴァジラヤーナ

1994年 6月27日 五仏の法則 35か所

1995年 3月20日 30万回 13人

600時間

記憶の風化を防ぎ、次世代に記憶を継承する

オウム真理教問題 デジタルアーカイブ

キーワードをクリックすると詳細ページへ

1万1,400人 70トン 1,000丁

ポア

【厚生労働省のYouTube】

厚生労働省

地下鉄サリン事件オーラルヒストリー

萱間真美 氏

地下鉄サリン事件オーラルヒストリー

中谷壽男 氏

地下鉄サリン事件オーラルヒストリー

宮崎舜賢 氏

作成者: 厚生労働省 / Ministry of Health, Labour and Welfare

再生リスト・3本の動画・13回視聴

すべて再生